

2022年3月30日

キャリアコンサルティング技能検定1級 学科・論述・面接試験 体験記

1級受検番号 NO:05F1520043 氏名 A (香川県 在住)

■1級技能士を目指したきっかけ

国家資格キャリアコンサルタント及び2級キャリアコンサルティング技能士を同時期に取得。某協会の東京で開催された研修に参加した際、レベルの差がかなりあることに愕然とし実力不足を痛感しました。自己研鑽をしないといけないと思い、学科を覚えているうちに1級に挑戦しようと受験を決意しました。

■当初の勉強法

奮起して試験に応募したのは良いが、勉強の仕方も全く分からず、対策講座も地元では開催されていませんでした。受検票が届き焦った私は、インターネットで検索をし、1級キャリアコンサルティング技能士の会の存在を初めて知りました。1級の過去問題を入手し内容を見て慌てた私は学科試験の2週間前に論述の在宅学習を申し込みました。添削いただいた解答用紙は真っ赤でした。面接練習は直前対策で、東京・大阪に出向き、ロープレ三昧と本番さながらに参加しましたが、全くついていけず、もちろん準備期間が短く初回の挑戦は惨敗。学科のみの合格でした。

■合格のきっかけ

コロナ禍で対面でのロープレがままならず、webで個別対応いただいたことが合格につながったと考えます。十分な練習ができていなかったため試験前の1月後半から試験前々日までに4回集中してWEBでの面接練習をしました。諸先生方から指導いただき、悩みながらも少しずつ成長出来ていたのだと思います。本当にありがとうございました。

2年目：初回の結果を真摯に受け止め早くから準備を進めました。全く分からない面接をどうするかを考え、1級合格キャリア塾に申し込みました。仕事の都合で日程調整が難しく、東京と大阪の両方に参加させていただき、一から基本を学びました。面談のフレームや二重構造などはじめは???となっていたのですが、勉強が進むにつれ理解も深まったと思います。もちろん試験前の集中講座(東京)に参加し、自分にできることは全てしたのですが・・・。

結果は論述が3点足らずで未達。面接は全く自信がなかったのですが、総合点69点で到達していました。『びっくりして、うれしくて、でも悔しくて、』複雑な思いでした。直ぐに結果通知を撮り写メで結果を報告しました。ロープレの正解が分からず悔しい思いをしながら東京・大阪に通っていたので面接の結果がうれしかったです。そして来年こそは合格を目指す!!と意気込んだのですが、...

そして3年目：新型コロナウイルスの感染拡大。1級合格キャリア塾に申込みをするも参加できたのは4回のみ、参加できなかった分はWEBでの対応に切替えていただき準備しました。ですが、論述は受験できましたが、面接は仕事の影響を考え受検することを断念せざるを得ず、とても悔しかったです。(論述の結果は、到達していました。だから尚更悔しかったです。)

4年目の今年：学科も免除期間が過ぎたため受検しなおし。2級の模擬面台を購入し前期から勉強を始めました。もちろん1級キャリア塾にも申し込みをしましたが、参加できたのは3回のみ、後はWEBでの個別対応をしていただきました。

学びの場が、もっと身近に有ればよかったのですが、東京や大阪に出向いた分、受けた刺激も大

きく励みになりました。学びの場を大切に少しでも吸収できるように心掛けました。後悔しないように取り組んできました。往復の新幹線は自分の振り返りの場となり、次に活かすための方策を考える時間でした。結論として、教えて頂いたことを忠実に守るのではなく、基本は抑えつつ、自分らしく目の前の相談者の話に寄り添うこと。身勝手な面談にならない事が合格につながったのだと思っています。

■学科試験の勉強

学科は過去問を解くことと（国キャリア・2級・1級過去3回分）、模擬試験問題を購入し解くことなど、出来ることはしました。時間がなかったため購入はしたものの手を付けられていない問題集やツールはありますが、技能士の会で販売している書籍は一通り購入して、過去問で間違えた問題の類似問題を探して解くようにしました。ただ解くだけではなく、×の問題は調べて正解文に直して覚えるなど工夫しました。

■論述試験対策

合格パイブル Z を購入して、自分の解き方と比べることや、基本的な解き方の理解に努めました。「基本はあくまで基本」として、自分の視点も大切に解くようにしました。（私の場合、人の文章をまねても本番で書けなくなるからです。）

問題にも限りがあるため、同じ問題を違う視点（着目点を変える）で書いて見比べ、共通点との違いを洗い出すなどをして理解を深めました。

■面接試験対策

2回目の挑戦はキャリア塾で基本を学び「守」身に着けました。そして直前のロールプレ三昧や本番さながらなど受講したことで型を崩す「破」が何となく理解できました。試験の2日前にロールプレイで失敗して思い悩んだ末に自分らしく試験に臨むことを決意。「離」に近づけたのかな？結果は上記に記入した通りです。そして3回目の4回目のともにキャリア塾を申し込んだもののほとんど参加できない状況でした。基礎や面談の構造の理解はできているためWEBでの個別対応に切替えていただきロールプレイ練習をしました。（追加料金を払ってでも交通費や宿泊費を考えると安くなるんですwww）そして、ラスト1か月は追い込みをかけました。個別レッスンをお願いし、いろいろな先生からアドバイスをいただきました。勘を取り戻すのに時間がかかり思うように面談できない、時間がかかりすぎるなどの状態から、合格に達するまでサポートいただきました。

■受検される方へメッセージ

私は、仕事の関係で前回受検を断念しました。今年もどうなるか受検に対する不安がとても大きかったのですが、その不安に技能士の会では寄り添っていただき、その都度対応を考えてくださったことにとっても感謝しています。自分の良さを理解できていなかった私に良い点を教えてくださったことで伸ばすことができました。また、自分の弱点を見つけて強化することもできました。皆様も基本を身に付けたうえで、自分のスタイルを見つけてください。合格を目指し頑張ってください。

最後に、私が『キャリア塾』にこだわった理由は、先生に教えていただくことの他に一つだけ、受講生間の刺激です。馴れ合いになるのではなく自分の足りない点を見つけるためと、多角的な視点を吸収するためです。